

各務原市まちづくり活動助成金

令和 7<sup>年</sup> 年度

交付事業報告集



当報告集は、ウェブページからもご覧いただけます。

各務原市 市長公室 まちづくり推進課

〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69 TEL:058-383-1997

E-mail:machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

※掲載してある内容は、団体から提出された実施報告書類や団体へのヒアリングおよび取材をもとに作成しました。

# 令和7年度交付事業

スタート助成1年目(NO.1~6)			
No	事業名	分野	団体名
1	ホテル保護区 PR による自然環境改善事業	環境の保全 まちづくりの推進	南町ホテルの会
2	ミドルシニアのキャリア形成事業	職業能力の開発、雇用 機会の拡充	一般社団法人 ビーエルエス協会
3	かけはしプロジェクト事業	子どもの健全育成	Star Ray (スターレイ)
4	吉新盆踊り事業	まちづくりの推進、 子どもの健全育成	吉新ふれあい隊
5	イベント情報交換・交流会事業	まちづくりの推進、 NPO団体の運営、連 絡、助言、援助	もーやっこサークル
6	HINADORI プロジェクト:自然と地域をつなぐツリーハウスづくり事業	環境の保全、 社会教育の推進	HINADORI プロジェクト 協議会
スタート助成2年目(NO.7)			
7	各務原狂言囃子の会事業	学術、文化、芸術又はス ポーツの振興	船出の会
まちづくり助成1年目(NO.8~12)			
8	低未利用地の有効利用を考える(実証実験)事業	まちづくりの推進	耀く大野町まちづくり委員会
9	舟やまを通じた世代間コミュニケーションの活性化と伝統行事の継承事業	まちづくりの推進、 芸術、文化、芸術または スポーツの振興	かわしま川祭り運営委員会
10	学校企画展事業	芸術、文化、芸術または スポーツの振興、 まちづくりの推進	中山道鶉沼宿 ボランティアガイドの会
11	プロ選手とボランティアによる子どもスポーツ参加促進事業	芸術、文化、芸術または スポーツの振興、 子どもの健全育成	野球夢道プロジェクト
12	ライフプラス 50 ~働く世代の健康促進事業~	保険、医療または福祉 の増進	一般社団法人健康応援隊
まちづくり助成2年目(NO.13)			
13	写真展「鶉沼」—空中歩道・鶉沼地区の活性化を目指して事業	まちづくりの推進	住みよいまちづくりを 考える会

当事業報告集は、市ウェブサイト([www.city.kakamigahara.lg.jp](http://www.city.kakamigahara.lg.jp))からも  
閲覧・ダウンロードすることができます。

[ホーム](#) > [くらし手続き](#) > [市民活動・まちづくり活動・自治会](#) > [まちづくり活動](#) >

[まちづくり活動助成金](#) > [令和7年度助成交付事業](#) > [令和7年度助成交付事業報告](#)



## 各務原市まちづくり活動助成金とは

この助成金は、市民の皆様が知恵を出し合い、力を合わせて地域の課題解決をする「市民によるまちづくり活動」の促進と NPO や市民活動団体の成長を目的に団体が行う活動や事業に要する経費の一部を、予算の範囲内で助成するものです。

### まちづくり活動とは・・・

まちづくり活動とは、広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行っている公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその成果を実感できます。

## まちづくり活動助成金の種類・条件等

助成実施期間		助成対象年度 4月1日から3月31日まで			
助成金種類		スタート助成金		まちづくり助成金	
		■設立後3年未満の市民活動団体 ■団体の設立及び自立を目指す		■設立後3年以上の市民活動団体 ■課題解決する団体への更なる成長を目指す	
		1年目	2年目	1年目	2年目
助成金額	助成率①	助成対象経費の2/3以内	助成対象経費の1/3以内	助成対象経費の2/3以内	助成対象経費の1/3以内
	限度額②	100,000円	50,000円	300,000円	150,000円
	持出し額③	(総事業費)-(事業実施に伴い得られる国・県補助金、利用料金、その他収入合計)			
	①～③の金額を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切捨て)				
審査	書類提出	○	○	○	○
	公開プレゼンテーション	○	○※	○	○※
報告	公開報告会	○※	○	○※	○
	実施報告書類	○	○	○	○

- 申請は、年度内に1団体1事業1回まで、同一事業での申請は2年度(回)までです。
- この助成は2年目の交付を保証するものではありません。2年目の交付を希望する場合、再度申請が必要です。当該助成事業の終了した年度の翌年度は、別事業であってもまちづくり助成金の申請はできません。  
※当年度1年目の公開報告と、翌年度2年目の公開プレゼンテーション審査を兼ねたものです。

## 【参考】令和8年度のまちづくり活動助成スケジュール

まちづくり活動助成金 応募・審査の流れ	
令和7年10月4日	助成金説明会
令和7年10月6日	応募受付開始
令和7年12月25日	応募書類受付締切
令和7年3月14日	公開報告会・審査会 (プレゼンテーション)
3月31日	採択・不採択連絡

まちづくり活動助成金 申請・交付決定後の流れ	
令和8年4月	交付申請・交付決定・交付事業開始
令和8年11月	中間報告書類提出
令和9年2月	実施報告書仮提出
令和9年3月	公開報告会・審査会 (プレゼンテーション)
	実施報告書提出

※助成金説明会・応募書類受付時期は変更になる場合があります。翌年度の募集についてはご確認ください。

助成事業名

ホタル保護区域 PR による自然環境改善事業  
(スタート助成1年目：南町ホタルの会)

事業概要

地元大安寺川の河川清掃への参加呼びかけを目的として、河川に「ホタル保護区」であるとの  
広報看板を設置する。

実施内容

●権現橋北詰めに看板設置 4月14日



●ホタル飛翔 (JR/名鉄高架～中川河口)

期間:5月14日～6月8日

ホタル飛翔数:延べ1725匹(最大飛翔確認数6月4日198匹)

鑑賞者数:合計4940人

ヒアリング者:延べ12人

スタッフ数:延べ156人



●河川巡視 ①5月14日 ②6月14日 ③7月15日 ④8月20日 ⑤9月24日 ●除草前の河川



●除草作業 ①9月7日 ②9月14日 ●刈り倒した草を堤防へ上げる 9月28日 ●搬送 9月29日



●除草後の河川

-\*

事業成果

みんなで自然環境を保護すれば、生物界の再弱者であるホタルも復活して  
夏の夜空に乱舞することを証明し、更に人が草を刈り、ゴミの回収などを  
通年にわたりたゆまぬ努力を重ねればホタルの飛翔数も増加することを  
主催者・鑑賞者が再認識することができた。

収支報告

事業費総額 162,422円 / 助成金交付確定額 100,000円

助成経費内容

需用費 (看板作成に為のパイプ、ステンレス製板、ボルト、ナット等)、  
委託料 (看板デザイン料、揮毫料、印刷料等)





**助成事業名**

**かけはしプロジェクト事業** (スタート助成1年目: Star Ray)

**事業概要**

不登校や発達障がいに関心する親子が孤立せず安心して相談、情報共有が出来る場を提供し生活の質の向上を目指します。

**実施内容**



ウェルカムガーデンのようす



サマーブルーアドベンチャー

アクティブファミリーデー



キッズブースターセッション



発達支援講座

スウィートタイムワークショップ

-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

**事業成果**

- ・座談会での声やアンケート結果より、保護者の悩みを軽減することができたと実感している。
- ・発達支援講座では支援者にも多く参加していた。
- ・様々なイベントに当事者が複数回参加し、支援機関とつながってもらえることができ、不登校や発達支援で悩む親子の安心に繋がった。
- ・次年度の活動に継続して参加したいとの声や、情報提供を楽しみにしているという声もいただいた。

不登校や発達障がいに関心する親子の居場所として親子が興味を持ちそうなイベントを定期開催して集うきっかけをつかった。イベントの合間に保護者同士で子育ての悩みなどを話していただくことができたほか、子どもたちへ学校や習い事によらない多世代交流の機会を提供できた。

**1. ウェルカムガーデン(座談会)**

毎回、那加福祉センター研修室で11時～13時の2時間開催。  
 ・子連れ参加がしやすいよう保育士が常駐。玩具等も用意した。  
 ・参加費無料。会話を円滑にするため、飲み物などを用意した。  
 4月23日 参加者1人  
 5月11日 参加者4人  
 6月25日 参加者2人  
 8月27日 参加者2人



← 配布用シール  
 参加者にシールを用意するなど  
 継続して来たくなるよう工夫した。

**2. サマーブルーアドベンチャー**

7月13日 総合運動公園キャンプ場 参加者53人 参加費無料  
 親子で水あそびを楽しんでいただく場とした。

**3. アクティブファミリーデー**

9月23日 学びの森 参加者 58人 参加費300円  
 パン食い競争や借り物競争などを通して交流していただいた。

**4. キッズブースターセッション**

10月26日 那加福祉センター 参加者 52人 参加費500円  
 衣装制作やファッションショー、段ボール迷路を楽しむ過程で参加者同士や講師などとの交流をしていただいた。

**5. アートミュージックフェスタ**

11月30日 那加福祉センター 参加者1人 参加費無料  
 リトミック講師と

**6. ホリデーパーティーミラクルナイト**

クリスマスイベントとする予定だったが感染症流行により中止

**7. 発達支援講座**

1月25日 総合福祉会館3階研修室 参加者10人 参加費無料  
 言語聴覚士の小田智世さんを講師に、「言えない・動けない・落ち着かない…そのすべてに“意味”がある」というテーマで講座を開催した。座学の後、参加者同士で話し合う時間を設けた。別室に託児室を設け、保護者が安心して参加できる環境を心掛けた。

**8. スウィートタイムワークショップ**

2月15日 総合福祉会館 料理教室 参加者10人  
 smile plus の森川ありささんを講師に、4歳から高校生までの子どもを対象にアイシングクッキーづくりの機会を提供した。

**9. ハートフルグラデュエーション**

3月4日 那加福祉センター研修室  
 1年を振り返るお茶会を開催した。

**収支報告**

事業費総額 156,722円 / 助成金交付確定額 100,000円

**助成経費内容**

講師謝礼、会場費、ワークショップ材料費、チラシ印刷代、消耗品代、保険料

助成事業名

吉新盆踊り事業 (スタート助成1年目:吉新ふれあい隊)

事業概要

地域交流と子どもたちの思い出に残る行事として、地域みんなで盆踊りを開催する。

実施内容

8月9日(土)15時~21時 進禄寺境内にて吉新盆踊りを開催。300名程の来場者があった。

盆踊り



1. 広報活動

手作りチラシ作成。近隣に配布。

2. 吉新盆踊り (進禄寺境内)

開催日時: 8月9日 15時~21時

参加者: 300人

うち吉新西自治会 49世帯 (30%)

吉新東自治会 39世帯 (33%)

子ども会 33名 (69%) が参加

運営協力:

自治会役員 6名、

活動委員 19名、

自治会手伝い 6名、

消防団柿沢班 9名

一般ボランティア 22名、

蘇原中ふれコミ隊 16名

各務原太鼓保存会 12名、

かかみがはら炎舞蓮 10名、

着付けサークル花ごよみ 7名

内容:

①ステージ発表

・地域住民の歌や演奏

・太鼓演奏 (各務原太鼓保存会)

・よさこい (かかみがはら炎舞蓮)

②ゲームコーナー設置

・ストラックアウト

・カプセルトイ

・スーパーボールすくい

・ヨーヨーすくい

③飲食の提供

・飲料・かき氷・綿あめ

・串カツ・揚げたこ焼き・枝豆

④盆踊り

ボランティア募集や地域通貨について、緑苑「ふれあいまつり実行委員会」に事例を聞かせていただいた。

ゲームコーナー



飲食の提供



受付 (子ども会・自治会・一般) 地域通貨 (吉新コイン)



自治会加入世帯へは、屋台で利用が可能な地域通貨を配布。受付での申告制とすることで来場チェックが可能となった。

かき氷を食べながら歓談



引換チケット



ボランティアなどの協力者へはお礼としてチケットを提供した。

先進地見学



-\*

事業成果

\*盆踊り当日は、自治会や子ども会の方々は勿論、その他の人達も大勢集まり、子ども達の成長に目を細める人、久しぶりの再会を喜ぶ人など、会場のいたるところに笑顔があふれた。自治会行事が縮小、参加者も減少して、地域の人々が集う機会が失われている昨今、久しぶりに開かれた交流の場として大いに賑わった。

\*子ども達は当日の盆踊りの他にも、夏休みのラジオ体操の後に盆踊りの練習をしたり、屋台を手伝ったりと、楽しい夏の思い出となった様子。帰り際に「楽しかった!」「来年も盆踊りしてね!」との感想をいただいた。

\*自治会の人達をはじめ、子どもや蘇原のふれコミ隊の学生、消防団や市内の着付けサークル、各務原太鼓保存会、かかみがはら炎舞蓮の方々など、多くの市民と協力し、盆踊りを成功することができた。当日の会場設営や片付け、屋台の手伝いを通じて、日頃、接することの無い住民同士が助け合い、顔見知りになることができた。

収支報告

事業費総額 264,053円 / 助成金交付確定額 100,000円

助成経費内容

かき氷機、綿菓子機、提灯、食材、ゲーム景品、消耗品 (ゴミ袋、消毒液、手袋等)、用紙、プリンターインク、事務消耗品

**助成事業名** イベント情報交換・交流会事業 (スタート助成1年目:もーやっこサークル)

**事業概要** イベントに関する情報共有できる場を作る。月に1回程度、情報交換会や交流会、協働イベントを開催し、市民同士の横のつながりを作る。

**実施内容**

**1. 交流会開催**

(①4月17日、②6月26日、③8月3日、④10月2日、⑤11月6日、⑥1月18日)

対象: イベントに関わる各種団体・法人・個人  
 日程: 平日夕方、土日日中を交互に開催 各2時間×6回  
 人数: ①3人 ②2人 ③2人 ④5人 ⑤3人 ⑥5人  
 場所: 産業文化センター会議室  
 内容: イベント情報の共有タイム、フリートークタイム



**2. 協働イベント**

**①協働イベントの開催(5月24日・25日)**

「防災×つながる」のイベントを開催し、22団体72名が出展した。  
 内容: 株式会社良品計画の防災イベント「いつものもしも CARAVAN」と同時開催とし、防災をきっかけに、つながりが作れるようなテーマを盛り込んだ。(展示、発表、踊りの輪やレクリエーション)

**②他団体主催イベントへ協力し協働**

- ・「アクティブファミリーデー」9月23日  
 情報交換交流会に主催である StarRay が参加し情報共有。スタッフとして健康応援隊が参加。道しるべが協賛協力した。
- ・「第2回木曾ポタ・パークリンク大会」12月7日  
 情報交換交流会で情報共有があり、もーやっこサークルが当該イベント実行委員として参加。  
 マルシェエリア調整担当・スープ無料配布のボランティアスタッフを担当。

その他、市外開催のイベントへも4回協力し協働機会とした。

**③各種イベント訪問**

- 情報交換交流会で共有されたイベントに足を運び、つながりを強化した。
- ・ゴザレピクニック (フェニックス総合クリニック) 5月18日
  - ・地域紹介イベント (河川環境楽園) 5月31日
  - ・健康づくりイベント (河川環境楽園) 6月8日
  - ・緑苑夏祭り (緑苑中公園) 8月17日
  - ・まちの交流会 (カフェGA楽) 9月7日
  - ・大野町防災イベント (大野町公民館) 10月12日
  - ・まちの文化祭 (フェニックス総合クリニック) 11月16日

交流会の様子



4月17日



6月26日



8月3日



10月2日



11月6日



1月18日

協働イベントの様子



5月24日・25日「防災×つながる」イベント



9月23日



12月7日

-\*

**事業成果**

**①イベント情報交換交流会**

対面で話すことで、各団体の活動を知ることができた。  
 当初の想定にはなかったが、イベント運営のお悩みを共有することができたため、イベントの在り方を考えるきっかけになった。(高齢化による担い手不足、広報活動の手段の多様化、運営の役割、資金づくり等)  
 アンケート(複数回答可)では、「楽しかった(48%)」「ご縁が広がった(60%)」という結果を得た。自由記述では「共通した課題が各地にあると再認識した」「聞きたいことが気兼ねなく聞けた」「考えてもみなかった話が多くなった」、「依存にならない協力体制が生まれると良い」「結論を出すよりも結論までに考え方を話したり聞いたりできるつながりがあると良い」などの意見があった。

**②協働イベントの開催**

協働をきっかけに各団体の取り組みを知ることができた。交流会での話をきっかけに、団体同士が共同でイベントを開催することもあった。他団体主催のイベントへ協力をしながら協働の場をつくることは、他のマルシェ主催団体との協働の場にもなった。

**収支報告** 事業費総額 54,988円 / 助成金交付確定額 29,000円

**助成経費内容** イベント音響、発電機レンタル、会場使用料、イベント保険、チラシ印刷代、アンケート印刷代、消耗品

## 助成事業名 HINADORI プロジェクト:自然と地域をつなぐツリーハウスづくり事業

(スタート助成 1 年目:HINADORI プロジェクト協議会)

### 事業概要

ツリーハウス制作とワークショップを通じて、地域の方々と共に自然資源の活用を考える事業

### 実施内容

「自然と地域をつなぐツリーハウスづくり」をテーマに、地域の自然素材を活かしたツリーハウスの制作と関連ワークショップを行いました。

4月から5月にかけて、かさだ広場・各務原アウトドアフィールドにおいてツリーハウスを設置・展示し、その制作過程を公開型のワークショップとして実施しました。葦簀による壁づくりや竹編み、竹を用いたインスタレーション制作、植物やビオトープを取り入れた屋根づくりなど、地域の素材を使った制作作業を行いました。

#### 1. ツリーハウス制作ワークショップ

<大人向けワークショップ>

ツリーハウスの構造や素材の特性に触れながら制作工程に参加する形式のWS

<子ども向け「HINADORI キッズクラブ」>

会場周辺の自然環境を活かした探検活動や秘密基地づくり

#### 2. ツリーハウス展示

4月26日から5月3日までの1週間、完成したツリーハウスを一般公開しました。

#### 3. 素材の再利用ワークショップ

ツリーハウス撤去後は、竹炭づくりや竹材づくり、葦簀づくりなどのワークショップを実施しました。制作に使用した素材や地域資源を再活用し、次の制作へとつなげる取り組みを行いました。

「制作・展示・撤去・素材の再利用」という一連の流れを事業の枠組みとして、年間を通して実施しました。本年度は、その循環型の取り組みをかたちにする初年度として実施しました。



ツリーハウス制作ワークショップ



完成したツリーハウス



HINADORI キッズクラブ



竹の伐採



竹炭づくり



葦簀づくり

\*\*\*\*\*

### 事業成果

地域の自然素材を活かした制作活動と、その循環の仕組みを実践として示すことができました。制作過程を公開し、参加型で展開したことで、ツリーハウスは単なる展示物にとどまらず、地域資源と人とをつなぐ交流の場として機能しました。

大人向けワークショップでは、参加者が竹や葦簀などの素材に直接触れ、構造や加工方法を学びながら制作に関わる形式とし、アンケートでは、体験の質や運営体制に対する高い評価が確認できました。

子ども向けプログラムでは、自然環境の中で主体的に活動する機会を提供しました。自由度の高い秘密基地づくりを中心に展開し、「子どもが大満足だった」「自分たちで考えて作る姿が見られた」「協力しながら完成させる経験ができた」といった感想が寄せられました。保護者からは、「自然に触れ、自由に発想できる貴重な機会だった」「安心して子どもを任せられた」との声もあり、自然体験と創造活動を両立した場としての意義が確認できました。

ツリーハウス展示期間中の来場者アンケートの自由記述では、「自然の中で心地よい時間を過ごせた」「持続可能な取り組みを感じた」「地域にこうした場が増えてほしい」「来年も楽しみにしている」など、継続を望む声が多く寄せられました。一方で、「駐車場や会場までの案内表示が分かりづらかった」といった具体的な改善点も挙げられ、次年度に向けた課題も明確になりました。

制作・展示・撤去・素材の再利用までを一連の流れとして実施したことで、自然資源を循環させながら活かす事業モデルの実践的な検証を行うことができました。価格設定や広報導線、実施時期などの運営面の課題も具体的に整理することができ、次年度に向けた改善の方向性を明確にすることができました。

本年度は、循環型の取り組みを継続していくための基盤を整える初年度として、運営体制・参加者層・広報効果の各面において実践的な成果を得ることができました。今後は、これまでに構築した制作手法や運営の枠組みを基盤とし、安定的に継続できる体制づくりを進めます。より多くの人に関わり、参加できる形へと展開を広げながら、地域に根差した継続的な取り組みへと発展させていきます。

### 収支報告

事業費総額 301,895 円 / 助成金交付確定額 100,000 円

### 助成経費内容

ワークショップ講師料、ヘルメット、竹割、竹割鉋、ノコギリ、剪定ばさみ、鎌、ハッカー、ペンチ、ニッパー、手袋、ブルーシート、しゅろ垣根縄、消耗品



助成事業名

大野町共有地の利用を考える事業

(まちづくり助成1年目：耀く大野町まちづくり委員会)

事業概要

低未利用地の有効利用について勉強会やワークショップを行い、基本構想を作成する。

実施内容

大野町共有地活用セミナー(5回)と  
先進事例(佐賀市 わいわい! コンテナ2)の視察を行い、  
3箇所の大野町共有地の有効利用の可能性について  
住民同士で意見を交わした。

第1回 7月25日(参加者12人)  
【講師】各務原市都市建設部土地活力創造課 松下 氏・大野尚子 氏  
【内容】・大野町共有地って何?  
・各務原市の取り組み

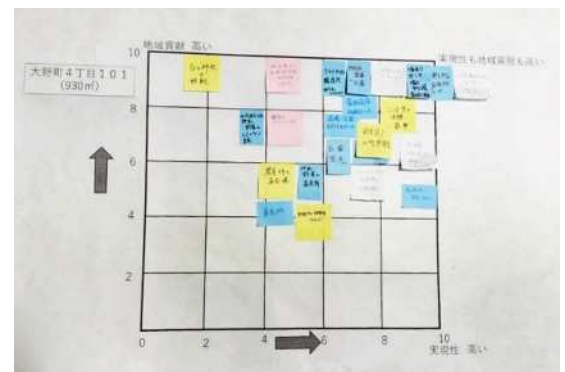
第2回 8月29日(参加者16人)  
【講師】美濃善不動産株式会社 代表取締役 浅野彰成 氏  
PEP UP CIRCLE 共同代表 葉山瑛介 氏  
【内容】・土地の活かし方  
・古民家活用の事例

第3回 9月26日(参加者13人)  
【講師】CBRE(株)コンサルタント 新川義志氏  
(株)オアシスパーク寺田祥夫 氏  
【内容】・産業的使い方(賃貸型物流倉庫の事例)  
・公園的使い方(オアシスパークの事例)

第4回 10月24日(参加者9人)  
【講師】(株)オアシスパーク寺田祥夫 氏、  
各務原市まちづくり推進課 辻由紀夫  
【内容】活用プランを考えるワークショップ

第5回 11月28日(参加者10人)  
【講師】岐阜大学名誉教授 | 岐阜県地方自治研究センター理事長  
富樫幸一先生  
【内容】行動計画作成のワークショップ

第6回 3月3日  
【内容】佐賀市「わいわい!! コンテナ2」視察




-\*

事業成果

- セミナーとワークショップを開催することで、住民が再度「低未利用地」の運用について意識した。
- 基本構想(基本方針)の完成には至らなかったものの、大野町が保有している3つの低未利用地について、「売る」「貸す」「運営委託」「包括連携・指定管理」などの運用可能性について住民が事例を学び、話し合いのベースができた。
- 「土地の運用により収入があった場合にどう使うか」という課題や自治会運営のあり方についても話題となった。今後、実証実験などに挑戦しながら、地域での話し合いを継続していく。

収支報告

事業費総額 385,435円 / 助成金交付確定額 246,000円

助成経費内容

報償費(謝金)、旅費、需用費(紙、プリンターインク、フライヤー印刷)、賃借料(illustratorソフト使用料)





助成事業名

プロ選手とボランティアによる子どもスポーツ参加促進事業

(まちづくり助成1年目：野球夢道プロジェクト)

事業概要

プロスポーツ選手や、幼児教育に携わる大学生ボランティアとのコミュニケーション機会を提供することで子どもたちがスポーツに興味を抱くきっかけを提供する。

実施内容

市内 10 カ所の幼稚園・保育園で、計11日間、19 回のスポーツ体験教室を実施しました。合計 558 人の園児が、野球夢道スタッフや元プロ野球選手の指導、中部学院大短期大学部幼児教育課の先生や学生・学校法人尚徳館日本プロスポーツ専門学校の学生のサポートのもと、身体の使い方や、道具の安全な扱いかた、マナーなどを教わりました。



<スポーツ体験教室内容>

・足じゃんけんなどの運動遊び ・ボール遊び ・T バッティング ・チームに分かれてのゲーム など



みどり幼稚園 年長園児83人  
開催日:6月13日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ1人  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ選手)  
松澤裕介さん(元読売ジャイアンツ選手)



さくら幼稚園 年長園児 38 人  
開催日:11月28日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 1 人  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ)  
小川宗直さん(元プロ野球選手)  
尚徳館日本プロスポーツ専門学校  
学生ボランティア4人



みどり幼稚園 年中園児83人  
開催日:7月2日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 3 人  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ選手)  
中部学院大学短期大学部幼児教育科  
小椋優作先生・学生ボランティア 13 人



鶯沼東保育所 年長園児17人  
開催日:12月12日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 1 人  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ)



合歓の木幼稚園 年長園児48人  
開催日:7月11日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 1 人  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ選手)  
松澤裕介さん(元読売ジャイアンツ選手)



子苑第二幼稚園 年長園児89人  
開催日:1月9日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 1 人  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ)  
小川宗直さん(元プロ野球選手)  
尚徳館日本プロスポーツ専門学校  
学生ボランティア4人



蘇原西保育園 年長園児13人  
開催日:11月7日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 1 人  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ)



鶯沼西保育所 年長園児28人  
開催日:1月16日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 1 人  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ)



うめま第一幼稚園 年長園児 54 人  
開催日:11月14日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 1 人、  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ)  
小川宗直さん(元プロ野球選手)  
尚徳館日本プロスポーツ専門学校  
学生ボランティア5人



子苑第一幼稚園 年長園児 89 人  
開催日:1月16日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 1 人  
酒井大輔さん(元広島東洋カープ)  
小川宗直さん(元プロ野球選手)  
高橋三千丈さん(元中日ドラゴンズ選手)  
尚徳館日本プロスポーツ専門学校  
学生ボランティア5人



各務保育園 年長園児 16 人  
開催日:11月21日  
野球夢道プロジェクトのスタッフ 1 人  
小川宗直さん(元プロ野球選手)

\*-\*

事業成果

スポーツ体験教室を受けた幼稚園・保育園、スポーツ体験教室を指導した学生にヒアリングをした結果、以下の効果を確認しました。

1. スポーツをしたいという子どもが増えた。
2. ボール遊びに興味を示す子どもが増えた。
3. 子ども達とスポーツを通じて接することが楽しいと思う学生が増えた。

予算額 事業費総額 664,747 円 / 助成金交付確定額 300,000 円

助成経費内容 報償費(講師料)、旅費(講師交通費)、需用費(ボール、バット、ユニフォーム、帽子、事務消耗品)、役務費(切手代)、備品(道具運搬バッグ、ティースタンド、ターゲットナインセット)





# 令和 8 年度交付事業

令和 8 年度は、以下の 15 事業が交付決定しました。

スタート助成1年目(No.1~3)			
No	事業名	分野	団体名
1	誰もがヒーローになれる場づくり トク♡活♡フェスタ	保健、医療または福祉の増進を図る活動	トク活フェスタ実行委員会
2	ひとりじゃないよ ～小児肝疾患肝臓移植の孤立を防ぐ事業～	保健、医療または福祉の増進を図る活動 社会教育の推進を図る活動	小児肝疾患肝臓移植の会 Liver Rainbow
3	親子で遊ぶように学ぶ「食の多様な選択」	保健、医療または福祉の増進を図る活動 社会教育の推進を図る活動	一般社団法人 frolic design
スタート助成2年目(No.4~7)			
4	ホテル保護区 PR による自然環境改善事業	環境の保全を図る活動	南町ホテルの会
5	ミドルシニアのキャリア形成事業	職業能力の開発または雇用機会の拡充を支援する活動	一般社団法人 ビーエルエス協会
6	かけはしプロジェクト事業	子どもの健全育成を図る活動	Star Ray
7	イベント情報交換・交流会事業	まちづくりの推進を図る活動、 特定非営利活動分野に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動	もーやっこサークル
まちづくり助成1年目(No.8~13)			
8	作業効率化の推進&地域の環境美化推進、コミュニケーションを図る	環境の保全を図る活動 まちづくりの推進を図る活動	上池クラブ
9	一緒に考えよう。わたしをそしてあなたを大切にすること	子どもの健全育成を図る活動 人権の擁護または平和の推進を図る活動	おひさまのおうち
10	地域資源の循環を促進するためのWEBサイト制作(古材・古道具活用)	環境の保全を図る活動	PEP UP CIRCLE
11	川上貞奴没後 80 周年記念作品 「新オペラ貞奴-すべては誠をもって-」制作・上演事業	学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動	創作オペラ 「貞奴」プロジェクト
12	防災教室	災害救援活動	川島防災クラブ
13	”食べる”ことは”生きる”事、「ミネラルを意識して心と体を元気にしよう」	子どもの健全育成を図る活動 保健、医療または福祉の増進を図る活動	学校法人 長屋学園
まちづくり助成2年目(No.14~15)			
14	舟やまを通じた世代間コミュニケーションの活性化と伝統行事の継承事業	まちづくりの推進を図る活動、 芸術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動	かわしま川まつり保存会
15	プロ選手とボランティアによる子どもスポーツ参加促進事業	芸術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動、 子どもの健全育成を図る活動	野球夢道プロジェクト

令和 8 年度事業の様子は、随時、「令和 8 年度交付事業取材レポート」でお知らせします。

市ウェブサイト <https://www.city.kakamigahara.lg.jp/> から

[ホーム](#) > [くらし・手続き](#) > [市民活動・まちづくり活動・自治会](#) > [まちづくり活動](#)

> [まちづくり活動助成金](#) > [令和 8 年度助成交付事業](#) > [令和 8 年度交付事業取材レポート](#)

